

藤 岡 自 治 区

区長だより

○消防団予算会

二月一日(土)午後七時〜 西山区民会館
 自治区から一世帯千三百円をお支払いしている助成金をどの様に活用しているかという報告で、消防団活動を知っていただくため開催されています。

区民の皆さんには、今年度「防災マップ」を作成し、配布させていただきました。その中に「消火栓」の設置場所が示されており、道路上の消火栓マンホールの近くには「ホース格納箱」が設置されています。ご確認ください。

これは、自治区が設置し、消防団に管理していただいています。かなり年数が立っているものもあり、ドアや支柱の腐食もあるため、今後は調査し順次交換していくとのことでした。

また、団員は現在、十四名の方がお見えですが、地元の方が少なく、団長や部長等、幹部の方の勤務先で勧誘した方々が多いとのこと。是非、地元の方の入団を求めておられます。入団資格は、**満十八歳以上、健康な方なら性別問わず入団**できます。

文責：藤本修身

詳しくは市消防本部総務課（電話三五一九七七一）にお問い合わせください。

○中山小学校PTCA予算説明会

二月八日(土)午前十時〜 藤岡南交流館
 こちらも区から一世帯百円をお支払いしている助成金の活用報告会です。

今まで「PTA」活動として助成をしていましたが、PTAの解散に伴い「PTCA」として活動していくため、これまで同様にお願したいとのこと。「C」はコミュニティの「C」ということです。学校からの依頼を受けボランティアを募り、その方々の費用弁償等を支払っていくのが主な決算、予算ということでした。

○第二回 学校運営協議会

「コミュニティスクール」連絡会議

二月十日(月)午前九時四十分〜中山小学校
 これは藤岡南地区の学校教育について、地域ぐるみの教育に向けた取り組みの充実を図る目的で、学校運営等に関し必要なことを学校と地域が一緒に話し合う場として設けられた会議のことです。

現在の各学校における



教室で子どもたちとの机を使って会議

運営状況と今後の課題について話し合いました。

○藤岡子ども会総会

二月十六日(日)午前九時〜
 藤岡ファミリーホール集客室

藤岡南地区の中には、子ども会が既に無くなった自治区もありますが、当自治区「子ども会」は活発に活動されています。

現在上、中、下のそれぞれ単位子ども会として活動していますが、やはり子どもが少なくなっている現状で、来年度からは、ひとつにまとめた形で活動されるようです。



↑ 総会出席の役員さんたち

○地域を探访ウォーキング

二月二十二日(土)午前九時〜 深見自治区
 これは藤岡南地区「コミュニティ会議」が主催となり各自治区の名所を歩いて探そうという企画で、数年前に開催され好評であったことから再開したものです。

今回は、深見自治区を訪れ深見公民館から、はじめに八十八か所「弘法大使尊像」が祭られる霊場「弘法山」を散策。それぞれの像には、番号札と世話人の名前が刻ま

れ、縁日に接待されてるとのことでした。



↑ 弘法山の散策



↑ いろいろな弘法大使尊像 ↓



↑ 田んぼの中をウォーキング

次に「磯崎神社」を訪れ、「農村舞台」の活用について歌舞伎など活発に活動されている説明を受けたあと、同敷地内の「薬師堂」の中を拝観。「薬師瑠璃光如来」像を拝み、その裏に祭られる「十二神将（干支）」と「庚申像」が印象的でした。



磯崎神社本殿と薬師堂(右)

↓ 農村舞台と説明の様子



↑ 薬師堂内部（如来像）

十二神将 ↓



その後は、吹雪の中、ため池の「白地釜池」に行き「公園促進活用事業」により設立された立派なマレットゴルフ場を見学し、深見公民館へと帰ってきました。



↑ 白地蒲池 東屋

東屋から見たマレットゴルフ場 ↓



とても見どころあるウォーキングでした。

○豊田市議会 一般質問傍聴

二月二十六日(水)午前十時

豊田市役所南庁舎七階議場

藤岡南地区から当選された山田主成議員の一般質問を傍聴させていただきました。

初めての議会傍聴で、どんな様子が写真を撮らせていただこうとしましたが、議場内は撮影禁止とのこと。

受付で「議会のしおり」と「傍聴券」をいただいて議場内に入りました。



議会傍聴の受付の様子



令和七年三月定例会が始まるにあたり、その前の代表質問・一般質問が二月二十五日(火)から二十八日(金)まで行われ、二日目の一番目に山田議員が質問されました。一つ目は「人口確保に向けた定住施策」について、

第八次総合計画の取組の状況や転入出、世帯数、空き家等の推移の現状を踏まえ、「今後の定住施策について」答弁を求められました。それに対し、建設部長並びに企画制作部長が回答されました。

二つ目は「世界ラリー選手権を生かしたまちづくり」について、

今年度の開催評価をどう捉え、次年度の改善に結びつけ、「クルマのまち豊田の将来像」について答弁を求められ、生涯活躍部長が回答されました。

なお、この様子は、豊田市議会のホームページから見ることができます。